

開新会部視察研修に行ってきました

下浦町の発展及び、イベントの企画・運営の参考とするため、開新会が11月12日（土）～13日（日）に視察研修を行いました。

研修当日は天候にも恵まれ絶好の研修日和となりました。さらに今年はコロナの勢いが、かなり収まった事により県内外で祭りが再開され、訪れた所はどこも感染対策もしっかり行っている様子でした。

今年は、鹿児島県伊佐市「伊佐ふるさと祭り」・熊本県芦北郡津奈木町「つなぎふれあい祭り」・熊本県八代市坂本町「坂本ふるさと祭り」・熊本県人吉市「人吉復興応援大感謝祭」を見学しました。伊佐のふるさと祭りは（土・日）の2日間行っており、かなり大きな祭りです。前回見学した際は相当な人数が会場に居ましたが、今年はコロナ後初だったためか、かなり会場に余裕がありました。つなぎふれあい祭りでは、まつりと合わせてニュースポーツの体験コーナー・大会が行われていました。坂本ふるさと祭りは、雨でも地面の心配をしなくてもいい様に、整地された道の駅の駐車場と広場を会場にし、送迎用のバスでは乗る際に必ず消毒をする徹底ぶりでした。人吉復興大感謝祭は、無くなってしまった人吉産業祭の代わりに立ち上げられたお祭りで、よさこいや人吉近辺の酒造が持ち寄った焼酎の試飲コーナーがありました。※焼酎金焼でお世話になっている、堤酒造さんのモノもございました。

今年は久しぶりに他地域のふるさと祭りを見学出来て大変勉強になりました。感染予防等についても、各々の祭りで工夫が見られ大変勉強になりました。その中で一つでも町の活性化に繋がるヒントがあればいいと思います。

女性部視察研修に行ってきました！




11月27日（日）に町女性部、振興会の計17名で、熊本県人吉市の「ひまわり亭」を視察しました。

ひまわり亭は、様々な「もったいない」を合言葉に人吉球磨の自然で採れた食材を使い、地域の主婦たちで経営していた「農村レストラン」でした。豪雨災害の被災を経て「農村レストラン&農泊 ひまわり亭」として、レストランを完全予約制に切り替え、その他に炊き出しボランティアや防災食の料理教室、宿泊施設としての利用等、新たな活動を行いより地域と密接な活動を行っています。

代表の本田節さんから講話をして頂いた際は、被災後4日目から炊き出しボランティアを行い、その活動の中ひまわり亭の再開までは約2年間かかったとの事でした。「本田節さん曰く、※きょうよう（教養）【今日、用事がある】、※きょういく（教育）【今日、行く】は、心と体の健康にもつながります！」と各々の活力になる話をして下さいました。また、帰りに下浦の特産石工との繋がりあり「山江村の石倉」を紹介して頂き、そちらも見学しました。

講話後、ひまわり亭で提供される料理を頂きながら、その際も参加された皆様が本田さんから色々話をお伺いしていました。今回の研修を通して参加者の皆様や町への活力に少しでも繋がればと思います。

会長コラム

「読書の秋」・・・本に親しむ  川崎 宏

11月、こらすで行われたまちづくり審議会の際、館内にある天草市立中央図書館で本を借りました。遅ればせながらも「読書の秋」を楽しむためです。

10/27の「文字・活字文化の日」を起点として2週間の「読書週間」、さらに11/23までの「読書月間」が終わりました。

この期間、『本の世界に飛び込み、登場人物と喜怒哀楽を共有する体験は心を豊かにしてくれる。子どもが本にふれる環境を整えることは未来への投資である』という言葉が印象に残りました。

また、『本は信頼できる友人。好きな本は手の届く所に置く』という言葉も素敵だと思いました。

現在は本、活字離れが進んでいるようですが、興味

深い調査結果がありました。電子書籍を読んだことのある7000人の小中学生に聞いたところ「電子書籍に比べ、紙の本が読みやすい」と答えたそうです。しかも書籍を読む機会が多い子ども程、紙の本を選ぶ傾向が強いそうです。

私は毎日新聞2紙（連載小説3編）は読みますが、最近本に触れる機会は少なくなっていました。コロナ禍で遠ざかっていた図書館で久々に借りた紙の本はやはり読み応えも存在感もありました。

市立図書館には以前から「読書貯金」通帳があります。借りた本の履歴（タイトル、作者、値段等）が分かる貯金通帳のような物です。「今まで借りた本をもし買っていたとしたら〇万円分（貯金？）」ということもささやかな楽しみにしながら本に触れる機会を増やしたいと思います。

地区振興会だより
しもうら

12月1日号

発行
下浦地区振興会
23-4733

下浦ホームページ
ひまわりボンカン島



<http://shimoura.info/>

ふれあい弁当をお届けしました！

70歳以上の一人暮らしのお年寄りの方々への声掛けや安否確認をすると共においしいお弁当を食べていただこうと、「ふれあい弁当」の配達を11月2日（火）に実施しました。

これは、下浦町地区社会福祉協議会と生活福祉部会の事業として、町女性部と特養聖和園のご協力を得て、年2回行っているものです。

当日は朝から特養聖和園で、町女性部の皆さんにお弁当の盛り付けをしていただいた後、民生児童委員と女性部などの皆さんとで、それぞれの地区のお年寄りの皆さんへ心のこもった温かいお弁当に言葉を添えて配達していただきました。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



特養聖和園で調理し、女性部・民生委員で盛り付け

【お知らせ】

下浦西地区の元駐在所付近に設置されていた標識（30キロ規制・駐車禁止）が撤去されました。また、近々下浦保育園側から国道へ抜ける道にもガードレールが設置されるそうです。
※カーブミラーの破損や折れ、危険個所の報告等ありましたらコミセン又は土木課までご連絡ください！

祭り出店・出演者募集！ 各地区からも是非！！

来年2月5日（日）に開催される第29回下浦町ふるさと祭りに、売店などの出店や作品展示会に作品を出品していただける方、また、舞踊・カラオケ・ダンスなどを舞台上で披露していただく町民芸能ショーに出演して下さる方を募集しています。

出店・出演をご希望の方は、【12月13日（火）】までに下浦地区コミュニティセンターまでご連絡をお願いします。
※前回、出店・出演された方には事前に依頼書を配布しております。



下浦町ふるさと祭り 協賛金のお願いについて

下浦町では、町の活性化と町民の融和を図るとともに、下浦町を広くPRすることを目的として「石工・ポンカンの里 ～下浦町ふるさと祭り～」を毎年開催しております。

29回目となる今回も、祭りのより一層の充実と今後の存続を見据え、町内及び町出身者の事業所・団体等にご協賛をお願い申し上げることになりました。

つきましては、こうした趣旨をご理解いただき、多くの皆様のご協賛を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



下浦町の人口

世帯数：756(±0)[-4]

人口：

男 778人(±0)[-13]

女 885人(-1)[-14]

計 1,663人(-1)[-27]

※令和4年10月30日現在

※（ ）内は先月比

※〔 〕内は前年同月比

12月の行事予定

- 3日 下浦さるくが仆セナー
- 中旬 女性部会議
- 中旬 開新会全体会
- 23日 防犯・交通安全パレード
- 29日～1月3日 年末年始休館
- 【1月】
- 1日 元日
- 4日 コミセン利用可



ありがとうございました

◇下浦地区振興会へ香典返しとしてご寄付をいただきました。（敬称略）

☆吉田 和敏様(石場)亡祖父 忠 様

☆大塚 浩典様(松崎)亡父 昭浩 様

☆江浦 幸三様(江須)亡母 キヌエ様

◇コミセンの清掃をしていただきました。

11月10日 にこにこクラブ

24日 ピリ・アロハ・ラニ

